



『今、誰よりも幸せです！』

熊本市立出水南中学校 教諭 岡村 健之

この度は、令和元年度熊本県中学校体育連盟功労者賞という、体育人として大変名誉ある賞をいただきありがとうございます。身に余る光栄です。

功労者とは、「苦勞の末、功績を残したもの。努力して、手柄を立てたもの」とあります。私には大変だった苦勞も、功績も手柄もこれと言って思い当たるところがありません。ただ、体育教師になりたくてなりたくて、なかなか出来なくて、やっとならぬことができて、日々楽しみながら今日まで続けてきただけなのです。

そんな中、平成7年のことでした。中体連にラグビー競技の準加盟が認められました。それから、ラグビーの指導を通して子供たちの成長を目の前で見せてもらいました。中学ラグビーの認知度が低い中、何とか普及させたい。ただその一心で活動してきました。それがいつの間にか10年がたち、20年が過ぎ、気づけば24年という長い間、ラグビー専門部長として楽しい日々を与えてもらいました。

ただ、ラグビーを通して子供たちとかかわる中で、中学生の心身の発達段階を考慮し、基本を大切にしてきたつもりです。「基本こそ勝利への近道」「完成よりも育成を」ラグビーで子供たちを育てたい。目の前のいい子ではなく、10年後の立派な熊本人を育てたい。そんなことを言いながらここまで来ました。

今年度は、多くの方々のご支援の下、熊本でラグビーワールドカップ2019が開催されました。ラグビーワールドカップは世界三大スポーツイベントの一つです。海外からの渡航者も多く、トップクラスのパフォーマンスを間近で体感でき、熊本の子供たちに夢と希望を与えるとともに本県のスポーツ振興に大きく寄与する機会になったと思っています。

今、思い起こせば楽しかったことばかり頭に浮かんでいきます。もちろんその一つ一つは中体連の活動があったからこそです。私の楽しい思い出は、中体連の歴史とともに存在します。先輩方のお引き立てと後輩諸君の支えにあります。同じ時に、同じ場所で、同じ夢を見ながら汗を流した子供たちとともにあるのは間違いありません。感謝！感謝！です。私は今、誰よりも幸せです。だから、まだまだ続けます。練習の汗が感動の涙に変わるまで。

最後になりましたが、熊本県中学校体育研究会・熊本県中学校体育連盟の益々の発展と会員の先生方皆様のご活躍を祈念しますとともに、これまでご指導いただきました諸先輩方、支えていただいた後輩諸君に心から感謝申し上げお礼の言葉とさせていただきます。